

令和5年12月21日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

開催日	令和5年12月21日(木)
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後3時20分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	阿 部 博 道
委 員	岸 田 玲 子
委 員	岡 田 卓 巳
委 員	小 山 勉
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	宮 本 知 幸
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	浮 田 康 宏
学 務 課 長	西 村 克 己
指 導 室 長	石 坂 泰
すみだ教育研究所長	宮 本 佳 代 子
地域教育支援課長	大 八 木 努
ひきふね図書館長	有 澤 恵 美 子
教育委員会事務局副参事	山 崎 紀 之

2 議題について

報告事項

- 第1 教育課題の進捗状況について
- 第2 寄付者への感謝状の贈呈について
- 第3 わんぱく天国プレーリーダーへの感謝状の贈呈について

3 会議の概要について

教育長 それでは、本日の教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名人は、阿部委員に
お願いします。

報告事項第1・・・資料番号【資料1-1～1-2】

「教育課題の進捗状況について」、指導室長、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。
教育長 それでは、「不登校対策の充実」について、何かご質疑はございますか。

阿部委員 「文部科学省の通知を踏まえ」と資料に記載がありますが、新たな提案や指針を示す内容の通知があったのですか。

指導室長 新たな提案や指針ではなく、再徹底を促す内容の通知です。オンライン授業の環境整備、ウェブ健康観察システムを使った子どもの心の状況の把握、スクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールカウンセラーと連携したSSWの早期発見・早期対応といったことが示されており、それを踏まえ、本区でも取組を充実させていきます。

岸田委員 ステップ学級の保護者の会と連携した子どもの未来応援会が開かれたとのことですが、具体的にどのような内容だったのか教えてください。

指導室長 不登校の子どもを持つ保護者が対象で、事前に27名の申込みがあり、当日は体調等の事情もあり、15名の参加がありました。内容としては、SSWによる、親として不登校の子とどう関わっていけばよいかという内容の講演、ステップ学級の保護者の会代表の方による体験談、参加者同士の情報交換、ステップ学級の卒業生による体験談です。保護者からは、大変ためになったとご好評をいただきました。

岸田委員 初めての開催ではないですね。

指導室長 夏とこの時期の、年2回の開催です。

岸田委員 自分を責めてしまう保護者も多く、子どもと一緒に自分自身も引き籠もりがちになってしまう保護者もいるので、こうした催しはとてもよいと思いました。

小山委員 全く支援を受けていない不登校の児童・生徒が5割から6割程度減ったという、とても良い報告がありましたが、各学校で何か対策がされたのでしょうか。

指導室長 中学校では、校内スモールステップルームという、学校の中で関わりを持てる場所ができたことが挙げられると思います。また、SSWが各学校へ定期的に訪問をするようになったことも関係があると思います。そのほか、休んでいる児童・生徒には家庭訪問や電話をして丁寧に働きかけていますので、そうした成果が表れているのだと思います。

教育長 続いて、「学力向上新3か年計画（第3次）の推進」及び「幼保小中一貫教育推進計画の改定」ですが、まず、幼保小中一貫教育推進計画の改定に係る議会報告であった意見等について報告してください。

すみだ教育研究所長 児童の指導要録の内容を中学校へ引き継ぐに当たり、電子データとしてそのまま引き継いだ方がよいのではないかというご意見や、小学校へ上がる際に、子どもたちが不安にならないよう、子ども同士の交流が持てるような工夫をしてほしいといったご意見もありました。また、集団保育を経験せずに小学校に上がるケースでは、どのような対応をしているのかといった質問がありました。

教育長 では、本件について、何かご質疑はございますか。

岸田委員 小学校から中学校への引継ぎは本当に大切で、ケース会議が開かれ副校長も出席していたにもかかわらず、副校長が替わったら「小学校から何一つ情報が上がってきていない」という事例もありました。このことは、ケース会議を開いた記録がきちんと引き継がれていなかったということだと思います。また、区内で転校した際に、転校前の学校から何も聞かされ

ていなかったという事例も何件もありました。ですから、情報が電子データで共有されれば、子どもや家族への支援に一層つながると思いますので、徹底していただけたらと思います。

すみだ教育研究所長 現在も、全てが紙というわけではありません。また、紙の情報だけではなく、中学校側も気になる生徒がいた場合は、小学校へ話を聞きに行っています。引継ぎについては、個人情報の扱いもあり、課題の整理が必要ですが、検討していきたいと思います。

報告事項第2・・・資料番号【資料2】

「寄付者への感謝状の贈呈について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、ひきふね図書館長から補足の説明をお願いします。

ひきふね図書館長 今回の図書の寄付者である「一般社団法人本との出会いホントの出会い」の代表理事の関矢美南さんは、墨田区在住の高校2年生です。関矢さんが本と出会ったことで救われ、前向きになることができたため、本を通じて地域貢献をしたいという目的の下、一般社団法人を立ち上げて活動しています。図書館だけではなく、シングルマザーへも本を寄贈するなど、様々な活動をしています。感謝状贈呈の際は、自分の活動記録をInstagram等でPRをするため、保護者と一緒にひきふね図書館にお越しになり、教育長の代替でひきふね図書館長から感謝状を贈呈しました。

教育長 通常であれば教育長から贈呈するため、日中に庁舎に来てもらうのですが、高校生で学校活動があるため、負担をかけないように配慮しました。

小山委員 素晴らしい活動だと思います。具体的にどういった本が寄贈されたのですか。

ひきふね図書館長 大人向けの本が多かったのですが、幅広いジャンルです。

報告事項第3・・・資料番号【資料3】

「わんぱく天国プレーリーダーへの感謝状の贈呈について」、地域教育支援課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。

(質疑なし)

教育長 以上で、本日の議事はすべて終了しましたが、そのほかに、委員の皆さん又は事務局から何かございますか。

(発言なし)

教育長 ほかになければ、これで教育委員会を閉会します。